



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年7月31日

上場会社名 金商株式会社 上場取引所 東証一部
 コード番号 8064 (URL <http://www.kinsho-corp.com>)
 代表者 代表取締役社長 竹内弘志 TEL (03) 3248 - 6600
 問合せ先責任者 経理部長 渡邊正美

(表示金額は百万円未満切捨)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績(平成19年4月1日~平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	45,805	76.1	591	9.6	475	45.3	649	214.4
19年3月期第1四半期	26,015	10.8	539	14.5	327	16.9	206	39.5
19年3月期	100,806	7.6	2,099	5.2	1,645	2.3	1,077	0.9

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	21 87	-
19年3月期第1四半期	12 90	-
19年3月期	44 93	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	57,840	11,126	19.1	370 93
19年3月期第1四半期	35,890	4,940	13.5	302 34
19年3月期	36,823	10,533	28.3	350 86

2. 配当の状況

	1株当たり配当金
(基準日)	第1四半期末
	円 銭
19年3月期第1四半期	-
20年3月期第1四半期	-

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日~平成20年3月31日)

当連結第1四半期における業績は概ね予想通り推移しており、平成20年3月期の業績予想は平成19年3月期決算短信公表時(平成19年4月27日)の業績予想と変更ありません。

なお、業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報】3. その他 をご覧ください。

【定性的情報】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当連結第 1 四半期の売上高は、エム・シー非鉄株式会社並びに三菱商事軽金属販売株式会社からの一部事業譲受け等により、458 億 5 百万円(前年同期 260 億 15 百万円)と前年同期比 76.1%の増加となりました。

売上高を取引形態別に見ますと、国内 31.1%、輸入 51.2%、輸出 13.7%、外国間 4.0%となりました。また、セグメント別では、非鉄金属製品・原料等の取引を譲受けたことに伴い、非鉄金属部門 59.7%、鉄鋼部門 39.0%、物流部門 1.3%となり、非鉄金属部門の比率が増加しました。

損益面におきましては、売上総利益は 13 億 55 百万円(前年同期 10 億 78 百万円)、営業利益は 5 億 91 百万円(前年同期 5 億 39 百万円)と増加しました。経常利益も 4 億 75 百万円(前年同期 3 億 27 百万円)と増加し、四半期純利益は固定資産処分益等により 6 億 49 百万円(前年同期 2 億 6 百万円)と大幅に増加しました。

セグメント別の営業概況

・非鉄金属部門（売上高 273 億 65 百万円 前年同期比 129.4%増）

製品取引は、エム・シー非鉄株式会社からの事業譲受けの他、原材料価格の高止まり、国内並びに輸出取引の自動車産業向け材料並びに建材向けアルミ材料が堅調に推移したことにより、売上高は大幅に増加しました。輸入取引は、産業機械向け材料の取扱量が減少しました。

原料取引は、三菱商事軽金属販売株式会社からの事業譲受けの他、輸出取引が好調に推移したことにより、売上高は大幅に増加しました。

部門全体としての売上高は倍増しました。

・鉄鋼部門（売上高 178 億 49 百万円 前年同期比 36.6%増）

製品取引は、国内取引が国内鋼板需要家の在庫調整により、また輸出取引が中国・米国の需要減少により、売上高は減少しました。

原料取引は、国内の堅調なステンレス・特殊鋼の生産及び原料単価の上昇により、売上高は大幅に増加しました。

機能素材取引は、エム・シー非鉄株式会社からの事業譲受けの他、一部商品の価格高騰により、売上高は大幅に増加しました。

部門全体としての売上高は大幅に増加しました。

・物流部門（売上高 5 億 91 百万円 前年同期比 41.8%減）

環境関連の陸上輸送取扱量が減少し、売上高は減少しました。

また、当社が金属分野に経営資源を投下して成長を目指す中で、物流部門を再構築し、非鉄金属関連以外の物流業務から撤退したことにより、部門としての売上高は大幅に減少しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

平成 19 年 1 月 19 日開催の取締役会に基づき、平成 19 年 5 月 1 日に、三菱商事株式会社の子会社であるエム・シー非鉄株式会社並びに三菱商事軽金属販売株式会社の事業の一部を譲受けました。これにより、当第 1 四半期連結会計期間末の連結総資産は 578 億 40 百万円(前期末 368 億 23 百万円)となりました。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用
（税金費用の計算）
連結子会社の個別財務諸表の税金費用につきましては、当年度の年間予測税率を用いて計算しております。
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更
該当事項はありません。

4. その他参考事項

- (1) 中長期的な会社の経営戦略
平成 16 年度を初年度とする『収益基盤強化 3 ヶ年計画』は、3 ヶ年計画全体を通して定量・定性いずれの面でも所期の目的を達成しました。
このように、収益基盤の更なる強化が実現したことを踏まえまして、平成 19 年 2 月 9 日に公表いたしました『成長 3 ヶ年計画』（以下 本計画）におきましては、下記を基本方針といたしました。
『技術に強くグローバルに展開する一流の金属複合商社』を目指す
社員一人ひとりが技術に対する理解力を持ち、親会社である三菱商事株式会社のネットワークも活用したグローバル展開を行い、その道のプロとして金属全般において商流・物流・事業投資の機能を持つ、より高いレベルで顧客ニーズに対応できる会社を目指す。
足場を固め、脇を締めて攻める
管理部門がチェック機能とサポート機能をしっかりと発揮して足場を固めて脇を締めた上で、営業部門が既存事業の拡大と新規事業の開拓を積極的に行う体制を整える。
中長期的に連結純利益 20 億円～30 億円を目指す
本計画においては、現行の巡航速度ベース連結経常利益 14 億円を最低限 22 億円とすることを目標にするが、現在の当社の事業内容、管理部門の機能並びに国内外拠点網、更には三菱商事株式会社の子会社（51%）となったことも考えると、中長期的には収益・規模ともに現状の 2 倍～3 倍を目標とする体力や体制が整ったと考える。
三菱商事株式会社非鉄金属本部との連携を深める
平成 19 年 5 月 1 日に実施した、三菱商事株式会社子会社であるエム・シー非鉄株式会社並びに三菱商事軽金属販売株式会社の事業の一部譲受けを第一歩として、更に他の事業での連携も検討し、三菱商事株式会社非鉄金属本部の商流部門としての当社の機能を発揮する。
- (2) 会社の対処すべき課題
『成長 3 ヶ年計画』におきましては、次の項目を対処すべき課題といたしました。
事業規模・収益の拡大
企業にとって成長・拡大は必須条件であると認識し、非鉄金属分野では三菱商事株式会社との連携も含めて、また、鉄鋼分野では従来の当社の得意分野を中心として、金属全般における商流・物流・事業投資の機能強化を図り、事業規模・収益の拡大を目指す。
内部統制に係る体制確立
平成 20 年度に導入が予定されている金融商品取引法の改正に伴う企業の財務報告に係る内部統制の体制作りは、適切に且つ確実に進める。

連結売上高内訳

1. 取引形態別内訳

(単位：百万円)

区 分	当第1四半期連結会計期間 自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 6月30日		前第1四半期連結会計期間 自 平成18年 4月 1日 至 平成18年 6月30日		増 減	
	金 額	百分比(%)	金 額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
国 内	14,270	31.1	9,412	36.2	4,857	51.6
輸 入	23,444	51.2	12,231	47.0	11,212	91.7
輸 出	6,265	13.7	3,011	11.6	3,253	108.0
外 国 間	1,826	4.0	1,358	5.2	467	34.4
合 計	45,805	100.0	26,015	100.0	19,790	76.1

2. セグメント別内訳

(単位：百万円)

区 分	当第1四半期連結会計期間 自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 6月30日		前第1四半期連結会計期間 自 平成18年 4月 1日 至 平成18年 6月30日		増 減	
	金 額	百分比(%)	金 額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
非 鉄 金 属	27,365	59.7	11,928	45.9	15,437	129.4
鉄 鋼	17,849	39.0	13,071	50.2	4,778	36.6
物 流	591	1.3	1,015	3.9	424	41.8
合 計	45,805	100.0	26,015	100.0	19,790	76.1

(注) セグメント別内訳の事業区分は、内部管理上採用している区分に基づいております。

第1四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

区 分	当第1四半期連結会計期間			前第1四半期連結会計期間			増 減		
	自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 6月30日		百分比(%)	自 平成18年 4月 1日 至 平成18年 6月30日		百分比(%)	増減額		増減率(%)
売上高		45,805	100.0		26,015	100.0		19,790	76.1
売上原価		44,450	97.0		24,936	95.9		19,513	78.3
売上総利益		1,355	3.0		1,078	4.1		277	25.7
販売費及び一般管理費									
従業員給料手当	338			226			111		
その他	426	764	1.7	312	538	2.0	114	225	42.0
営業利益		591	1.3		539	2.1		51	9.6
営業外収益									
受取利息	55			40			14		
為替差益	49			-			49		
持分法による投資利益	35			-			35		
その他	5	146	0.3	10	50	0.2	4	95	188.5
営業外費用									
支払利息	142			162			20		
売掛債権売却損	42			21			20		
為替差損	-			59			59		
持分法による投資損失	-			3			3		
雑損	29			-			29		
その他	47	261	0.6	15	263	1.0	32	1	0.5
経常利益		475	1.0		327	1.3		148	45.3
特別利益									
固定資産処分益	681			-			681		
貸倒引当金戻入益	2	683	1.5	34	34	0.1	32	648	-
特別損失									
固定資産処分損	42			0			42		
その他	5	47	0.1	-	0	0.0	5	47	-
税金等調整前四半期純利益		1,111	2.4		361	1.4		749	207.0
法人税、住民税及び事業税	447			117			329		
法人税等調整額	17	464	1.0	27	145	0.6	10	319	219.6
少数株主利益		3	0.0		9	0.0		13	133.9
四半期純利益		649	1.4		206	0.8		443	214.4

第1四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

区 分	当第1四半期連結会計期間末 平成19年6月30日		前連結会計年度の 要約貸借対照表 平成19年3月31日		増 減	
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	金 額	
(資産の部)						
流動資産						
現金及び預金	2,920		3,027		107	
受取手形及び売掛金	31,846		17,783		14,062	
たな卸資産	13,966		8,327		5,638	
その他	2,218		2,247		29	
貸倒引当金	151		160		8	
流動資産合計	50,799	87.8	31,225	84.8	19,574	
固定資産						
有形固定資産	946		1,620		674	
無形固定資産						
のれん	757		-		757	
その他	166	923	160	160	5	763
投資その他の資産						
その他	5,321		3,951		1,370	
貸倒引当金	150	5,170	134	3,816	16	1,353
固定資産合計	7,040	12.2	5,597	15.2	1,442	
資産合計	57,840	100.0	36,823	100.0	21,016	

第1四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

区 分	当第1四半期連結会計期間末 平成19年6月30日		前連結会計年度の 要約貸借対照表 平成19年3月31日		増 減	
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	金 額	
(負債の部)						
流動負債						
支払手形及び買掛金	26,403		13,225		13,178	
短期借入金	17,287		9,564		7,723	
その他	2,358		2,817		459	
流動負債合計	46,049	79.6	25,607	69.5	20,442	
固定負債						
退職給付引当金	592		608		16	
役員退職慰労引当金	46		49		2	
その他	24		25		0	
固定負債合計	664	1.2	682	1.9	18	
負債合計	46,714	80.8	26,290	71.4	20,423	
(純資産の部)						
株主資本						
1 資本金	3,143		3,143		-	
2 資本剰余金	2,340		2,340		-	
3 利益剰余金	5,500		4,998		501	
4 自己株式	6		6		0	
株主資本合計	10,977	19.0	10,476	28.4	500	
評価・換算差額等						
1 その他有価証券評価差額金	127		46		81	
2 繰延ヘッジ損益	20		0		19	
3 為替換算調整勘定	104		98		5	
評価・換算差額等合計	44	0.0	51	0.1	95	
少数株主持分	105	0.2	108	0.3	3	
純資産合計	11,126	19.2	10,533	28.6	592	
負債純資産合計	57,840	100.0	36,823	100.0	21,016	

セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

当第 1 四半期連結会計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 6 月 30 日)

(単位:百万円)

	非鉄金属	鉄鋼	物流	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	27,365	17,849	591	45,805	-	45,805
(2)セグメント間の内部売上高	-	606	37	644	(644)	-
計	27,365	18,456	628	46,450	(644)	45,805
営業費用	27,179	18,070	609	45,859	(644)	45,214
営業利益	185	386	19	591	-	591

(注)1. 事業区分は、内部管理上採用している区分に基づいております。

2. 各事業の主な取扱商品は、次のとおりであります。

- (1) 非鉄金属 非鉄金属に関わる地金・原料・製品
- (2) 鉄鋼 鉄鋼に関わる鉱石・原料・材料製品・半製品・製品
- (3) 物流 倉庫業・港湾運送業・通関業・各種輸送業

前第 1 四半期連結会計期間 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 6 月 30 日)

(単位:百万円)

	非鉄金属	鉄鋼	物流	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	11,928	13,071	1,015	26,015	-	26,015
(2)セグメント間の内部売上高	-	221	21	243	(243)	-
計	11,928	13,292	1,037	26,258	(243)	26,015
営業費用	11,797	12,970	950	25,718	(243)	25,475
営業利益	131	321	86	539	-	539

(注)1. 事業区分は、内部管理上採用している区分に基づいております。

2. 各事業の主な取扱商品は、次のとおりであります。

- (1) 非鉄金属 非鉄金属に関わる地金・原料・製品
- (2) 鉄鋼 鉄鋼に関わる鉱石・原料・材料製品・半製品・製品
- (3) 物流 倉庫業・港湾運送業・通関業・各種輸送業